秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
作物統計

平成　年産共済減収調査
果樹共済基準筆調査
果樹・収穫共済基準筆調査票

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

入力方向　4431

記入見本 0123456789

種類名		種類等名	

農政局　　地域センター

組合等名		共済番号		組合員等の所在地	市郡　町村　番地	組合員等氏名	

年産	都道府県	地域センターコード	種類名コード	種類等名コード	調査圏番号	引受方式	継続	設置市町村コード	樹齢階層	調査月日

調査者氏名	

1　農家の栽培状況と見込収量（基準筆となった圏地について聞き取る）

品種名 コード	品種名	樹齢 年	引受面積 (1) a	本数 本	1筆当たり 見込収量 (2) kg	前年収量 (3) kg	対前年比 (2)/(3)*100%	共済基準収穫量 (4) kg
種類等合計（平均）								

2　調査圏地の概況

コード	地形	コード	傾斜方向	コード	仕立方式	コード	灌水施設	収穫期
								月　日 ～ 月　日

3　調査圏地の面積及び本数〔上段は全圏地、下段は圏地の一部を実施した場合の値を記入する。〕

栽培面積 (5) a	結果樹面積 (6) a	植栽本数 (7) 本	結果樹本数 (8) 本	結果区画数 (9) 区画	実測樹数 (10) 本 (区画)	観察樹数 (11) 本 (区画)	調査樹数計 (12)=(10)+(11)

4　果実数

採用した調査方法	コード	

調査樹（区画）番号（うち実測樹に○印）											計
観察調査による果実数											(A)
											(B)
実測調査による果実数											(C)

注：「観察調査による果実数」は観察によって見積もった基準筆の調査樹ごと観察果実数を記入し、その合計を「計の(A)」の欄に記入する。
「計の(B)」の欄は基準筆の調査樹のうち、実測を行った樹体の観察果実数を記入する。「計の(C)」の欄は、実測した樹体の実測果実数を記入する。

平均1樹（区画）当たり観察果実数	(13)=(A)/(12) 粒	実測樹の平均1樹（区画）当たり観察果実数	(14)=(B)/(10) 粒	実測樹の平均1樹（区画）当たり実測果実数	(15)=(C)/(10) 粒	修正率（小数点以下3位）	(16)=(15)/(14) 粒	平均1樹（区画）当たり果実数	(17)=(13)*(16) 粒

5　果実重

採用した調査方法

調査果実重合計	(18)((E)から転記) g	調査果実数	(19)((D)から転記) 粒	平均	(20)=(18)/(19) g	修正率（小数点以下3位）	(21)	決定果実重	(22)=(20)*(21) g

6　収量の測定

	1樹（区間）当たり 果実数	果実重	収量
	(17)欄から転記 粒	(22)欄から転記 g	kg
実査結果			
園内観察			
決定	(23)	(24)	(25)=((23)*(24))/1000

		本年収量 (kg)	前年収量 ((3)から転記) (kg)	共済基準収穫量 ((4)から転記) (kg)	対比(%) 対前年比	対比(%) 共済基準収穫量対比
1筆当たり		(26)=(25)*(8)または(9)	(29)	(32)	(35)=(27)/(30)*100	(36)=(27)/(33)*100
10a当たり	(1)基準	(27)=(26)/(1)*10	(30)=(29)/(1)*10	(33)=(32)/(1)*10		
	(6)基準	(28)=(26)/(6)*10	(31)=(29)/(6)*10	(34)=(32)/(6)*10		

注：(A)、(B)、(C)、(D)、(E)は、「果樹・収穫共済基準筆調査果実数及び果実重算出補助表」を使用した場合には算出表から転記する。

7　特記事項〔被害状況（特に被害名、被害程度）その他を記入する。〕

SAMPLE

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。